

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	路線バス拡充要請事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課					
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	主管課長	長橋 祐之					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	路線バスを利用する市民等	意図	民間バス路線網の拡充を促進する。
事業内容	市内に路線を持つバス事業者に対して、既存路線の充実や新規計画路線の早期実現に向けての要請を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	つくばエクスプレス開業年の平成17年度には3路線であった市内の民間バス路線が、現在11路線に増加している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	路線数	11	11	11	本	↑↑↑	
②	1日の運行回数	377	369	370	回	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市内を運行するバス事業者のダイヤ改正により、平成29年度の1日の市内バス運行回数は、前年度から増加となった。 バス事業者との協議については、道路の整備状況など、バス経路周辺環境の状況を踏まえた協議を、継続的に行った。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				671,200				
事業費(b)(円)								
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)								
人役・職員(人)				0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	バス事業者に対し路線の拡充を要請していく。	③取組の課題	費用対効果が望めない路線の廃止を含む減便等。
②今年度(H29)に実施した取組	路線バスが市民にとって便利なものとなるよう、バス事業者に対し、要請を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	引き続きバス事業者に対し、既存路線の経路変更や新規路線の開設等について提案を行うなど、バス事業者との協議を行っていく。